

2025年1月31日
No.2501

現 評

愛知県職連合会 現業評議会

名古屋市 中村区 竹橋町36-31
代 表 052-433-7373
F A X 0120-930-340
http://www.aichikenshoku.gr.jp
gengyou24@aichikenshoku.gr.jp

- 第20回定期大会概要
- 2025年度運動方針
- 新旧役員あいさつ

第20回定期大会


2024年度取り組み総括・2025年度運動方針確認

粘り強い取り組みで、長年の懸案課題の改善をめざす

2025年度運動方針抜粋

- 賃金関係
 - ・早期の主査級昇任、主任級昇任要件「在職10年」の早期改善
 - ・給与実態調査の実施
 - ・人事課や保健医療局、組合本部役員との意見交換等の実施
 - ・現業組合員の課題を浮き彫りにするため、昨年に続き、実態アンケートを実施
- 組織強化関係
 - ・本部役員会議、職場代表者会議を2か月に1回を基本に開催
 - ・現業組合員が勤務する全職場での職場集会を開催
 - ・新採用職員、会計年度任用職員の加入促進
- 組合員どうしの積極的な交流を図るため、現業レクを実施
- 全組合員を対象にした「学習会」の実施と、機関紙「現評」を発行

田邊議長あいさつ



高の昨今の物価は、高止まりが続いており、組合員の負担感が増す一方、生活水準はなかなか上がらない。この状況を打破するため、組合員一人一人の働き方を見直し、健康で生き生きと働く環境を整えることが重要である。今年度は、賃金関係の早期改善や、組織強化を図るとともに、組合員どうしの交流を促進し、互いに支え合いながら課題の解決に取り組んでいくことを目指す。

2024年12月14日に、現業評議会第20回定期大会を開催しました。昨年10月の人事課との意見交換会で、当局が「見直しについて検討している」とした、主任級要件である「在職10年」の早期改善など、長年の懸案課題に対して粘り強く取り組み、現業組合員の生活と権利を守るため、より一層の学習と団結を進めていくことを確認しました。

②主任級要件の改善
人事課との意見交換会で、これまで管理運営事項として厳しい姿勢であったが、主任級要件（在職10年）の早期改善について、「見直し」の発言があった。長年の懸案課題であったが、今年度は、この発言を踏まえ、早期改善に向けた取り組みを進めていくことを目指す。

①現業職員の一人一台パソコンについて
保健医療局には要望しているが、動愛指導員に配属されておらず、共有パソコンでもメールが使用できなくなったため、FAXでやり取りをするという状況となっている。現業職員についても、必要な職員には一人一台パソコンが配備されるよう、しっかりと求めていく。

運動方針案を補足する意見として、現評本部役員から次のとおり発言がありました。
職場環境の改善など、粘り強く取り組みを進めていきたい。

(裏面へ続く)

③ 定年延長を踏まえた職員配置

定年延長が始まったが、人員の配置が課題である。局をまたいで異動は難しいとしているが、現業組合員の実態を理解して頂き、安心して生き生きと働き続けることができれば、引き続き求めていきたい。

④ 職場集会の実施

今年初めて財産管理課（運転G、警備G）で職場集会を実施し、業務実態など直接聞くことができた。引き続き、現業組合員が勤務する全職場で職場集会を開催し、直接組合員の声を聞くとともに、組合の必要性をしっかりと訴えていきたい。

⑤ 人員要求

今年には動愛指導員3名、畜産職で3名の補充がされた。必要な職種には必要な人員を補充することは当然だが、それでも現業職場は厳しい実態にある。

年齢構成も上がり、体力的にも厳しくなっている。こうした状況で、増員要求をしていくことも必要と考える。

⑥ 組合加入の促進

一般職非常勤職員はほ

とんど組合に加入していない。職場でそれだけの現業職の一般職非常勤職員が勤務しているか、なかなか掴めていないため加入促進に向けては実態把握が必要と考える。

新旧本部役員紹介

△ 退任役員 △

● 副議長
白頭 聖志（段戸山牧場）

長年、現評役員として組合活動を支え、組合の発展に大いに寄与してきた白頭さんが、今大会をもって退任されることになりました。退任にあたりその功績をたたえ感謝の意を表します。

今大会で役員を退任することになりました。長い間大変お世話になりました。この間、なかなか思うように要求実現できませんでした。これからは、



れからも現業職員に対する風当たりは強いと思います。

⑦ 組合本部への要望

組合本部に対する要望として、動物愛護センターのあり方検討や、がんセンターの独法化など情報がなかなか下りてこない。本部としてもしっかりと対応頂きたいと考える。

が、今以上に皆さんの要求を汲み上げ、コツコツ継続することがとても大切です。今後も現業評議会が益々発展することを願って最後のあいさつとします。長い間本当にありがとうございました。

△ 2025年度役員 △

● 議長
田邊 靖典

（動愛センター・尾張）引き続き議長を務めることになりました。

物価高騰により生活の負担感が増す中、物価上昇に見合った賃金改善、そして健康に高齢期からも働き続けられる職場改善を求めて、組合員との対話を大切に、

懸案課題を一つずつ減らしていくよう取り組んでいきますので、組合員の皆様方のご協力をよろしくお願ひします。

● 副議長
下野 豊

（農業総合試験場）

今期から副議長を務めることになりました。副議長として、議長や役員とともに、組合員の皆さんの要求が一つでも実現できるように頑張りますので、ご協力をよろしくお願ひします。

● 副議長
村松 宗和

（がんセンター・病院）

病院職場の現業職員として、今後も職場の労働環境の維持・改善を図るよう、組合員・役員みなさんと協力して進めていきたいと思ひます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

● 事務局長
名倉 幹雅

（段戸山牧場）

様々なモノやサービスの価格上昇が止まらない中、給与の上昇が追いつかず、厳しい生活が続いています。私たち現業職員でも、最高号給到達者が行政職適用職



抱負を述べる2025年度新役員（右から田邊、下野、名倉、日比野、矢嶋）

員の平均給与に近づけるよう、目標を高く持ち、皆さんと運動を進めていきます。

● 常任委員
日比野 篤史

（動物愛護センター）

昨年に引き続き、常任委員を務めます。組合員の皆さまの要求を少しでも実現できるように頑張りますので、ご協力お願ひします。

● 常任委員
矢嶋 治明

（農業総合試験場）

役員として組合活動に参加することは初めてですが、現業組合員みなさんのためになんばりたいと思ひます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。